

## 第2 教育研究団体の意見・評価

### ○ 全国公民科・社会科教育研究会

(代表者 大山 敏 会員数 約1,000人)

TEL 03-3958-0121

#### 1 前 文

出題内容は学習指導要領に掲げられた教科・科目のねらい及び内容におおむね則しており、基礎・基本を重視したものとなっている。平易な問いを中心に高校生が学習した知識や涵養した思考力に基づき、考えて解いていく工夫が施されている標準的な問題である。ここでは後期中等教育を与える現場からの意見と評価を申し述べる。

#### 2 試験問題の程度・設問数・配点・形式等

全体を通して質・量ともに共通テスト初年度以来、同程度を維持しているものの簡単に高得点は取れないようにしているという点では少しずつ難化しているように見える。大問4で構成される形式はセンター試験以来継続しており、学習指導要領に則り、基礎的基本的な知識を確認する問いや、確かな基礎的基本的な知識に基づき資料等を読み込み「倫理」で学んだ見方考え方を発展させた思考力判断力を駆使して解く問いを中心に構成されている。難問奇問は見られず平易ながら考えて解く工夫がなされている。大問の状況設定に無理があるのは共通テストならではの制約とは理解できるものの、出題される先生方の専門性を活かした学問としての背景のあるリード文を高校生に読ませ、「倫理」を学習した延長線上に高等教育があることを実感させ、深遠な学問の世界に向かう尊さ、真理の探究者の一員として学問を修めることへの畏敬の念を育てるとともに、学問への真摯な姿勢を涵養する工夫も期待したい。それだけ共通テストがもつ高校生への影響力は大きく、かつ重い。問いの構成も「倫理」で学ぶ内容をただ寄せ集めたものではなく、解きながら体系立てた学びが深まり、大学での研究につながることを感じさせるものであるべきだろう。

以下、各設問について意見と評価を申し述べる。

第1問 「正義」を軸に展開される二人の高校生の会話文を読み、源流思想について考える問題。

問1 「正義」に下線が施されていながら、宗教において「正しいとされる事柄」を問う形にすり替わっている。「倫理」の学習で扱われる思想や哲学における「正義」と宗教における「正しいとされる事柄」は同じことだと高校生に誤ったメッセージを伝えかねないことを危惧する。「正しいとされる事柄」は正統と異端の問題をはらみ、正義とは異なることは出題者には常識でも、共通テストが高校生に与える影響の大きさを考えれば、慎重になりすぎることはないだろう。問いが「様々な宗教において正しいとされる事柄についての説明」を問うと決まった時点で、会話文を改訂して下線が「様々な宗教において正しいとされる事柄についての説明」に施されるようひと手間加えるべきだろう。

源流思想についての基礎的基本的な知識を問う。仏教では在家信者は三帰を条件とし五戒をはじめとする戒を受けもつことができ、出家信者はさらに厳しい修行をすることはわかるから③を正答として選べる。②や④は基礎的基本的な知識として平易なので誤答とわかるが、①は『クルアーン』の内容を理解しておくことが求められており、そこまで問うことがふさわしいかどうか、疑問である。もちろん、知識としては①が誤りとわかる。

問2 源流思想についての基礎的基本的な知識を問う。④が老子の思想そのものの基礎的基本的な知識であることから正答は容易。①パリサイ派は律法の厳守を説いて尊敬を集めたとされるから誤答とわかる。②アリストテレスは理性の活動を完成することが最高の幸福と考え、観想的生活を最も望ましいと考えたから誤答とわかる。③ジャイナ教は商業関係に従事した人々に広がったことから誤答とわかる。

問3 資料に示された『クルアーン』の読解力とイスラームについての基礎的基本的な知識を問う。aは資料を丁寧に読めば決まる。①は資料の第1文と第2文から決まる。bは五行についての基礎的基本的な知識を問う。もっとも、高校生は資料を読まずに、常識として③a「限られた情報を頼りにして」判断せよなどという宗教はないだろうし、②④bメッカに向かって礼拝するのであってムハンマドではないだろうし、偶像崇拝を嫌うイスラームで預言者を拝むのは不自然と考え、①を選ぶ。選んだあとで資料を読み第1文と第2文から①が正答であることを確信することになるだろう。

問4 「共存」「共生」を考える設問。基礎的基本的な知識を問うものの「共存」「共生」をキーワードにしたところが評価できる。アはイエスの教えにある「愛」についての正文。イは墨家の兼愛と非功説についての正文。ウは誤文で、ブッダの執着や慈悲について正しく理解しているかを問う。平易。

問5 「平等」をキーワードにして仏教とキリスト教についての基礎的基本的な知識と資料の読解力を問う。アは縁起の捉え方、諸行無常と諸法無我の理解から不十分と判断できる。イは贖罪の考え方を示す正文。資料からウとエは正文。

問6 荀子の思想についての基礎的基本的な知識の確認と資料の読解力をあわせて問う。高校生は知識として荀子の性悪説、礼による矯正、韓非子に受け継がれ法家となることは知っている。高校生なら「矯正」から①の冒頭と④の冒頭及び③の資料において以下が誤った説明と見抜ける。すなわち資料を読まずして正答は得られる。念のため資料を読むと、性善説に立つ孟子を批判し礼は後に獲得できる話が正文とわかる。

問7 二つの資料とまとめのメモを対比しながら論旨を追うとともにストア派からキケロを通じて自然法思想につながる思想の系譜を確認する。高校生はヘレニズムの思想を学習して近代自然法の考えがストア派に発することを知っているので6択は3択に減る。さらに資料1からソフィストが人間の欲求を重視していることと資料2から「自己利益のために他人から略奪し他者を害することになるなら」「社会」「が崩壊する」を見て他者を犠牲にした自己の利益の追求は自然に反する結果を招く、と読める。

問8 読解力を問う。「倫理」で学習した知性を総動員するところが「国語」の読む作業とは異なる。

第2問 日本思想について、高校生と先生の対話、高校生のレポート及び日記から考える問題。

問1 最澄と空也についての基礎的基本的な知識を問う。高校生の知識では、最澄は、比叡山延暦寺、天台宗、一切衆生悉有仏性、『法華経』、菩薩戒のみを受けて官僧となるように改めたこと、座禅や密教とのつながり、大乘仏教の総合をめざすこと等と理解されているのでアは誤文と分かり、空也は、遍歴と遊行、庶民に対して阿弥陀仏信仰を説き、道を拓き、橋を架け、井戸や池を掘り、遺棄された遺体を念仏を唱えながら火葬にしたと理解されているのでイは正文とわかる。

問2 古代の人々の考え方について基礎的基本的な知識を問う。正答④の清明心を証明する話は正文とわかるが、他の選択肢を誤文と見抜けるかとなると教科書レベルは超えていよう。高校生の知識では、①のイザナキとイザナミについては黄泉国と穢れ、禊のエピソードとし

ては理解していよう。②天つ神と呼ばれる神々が高天原に住んでいることや高天原を主宰するのがアマテラスであることは理解していよう。③和辻が「祀る神とともに祀られる神」と規定したのは正しいが、アマテラスの「尊貴さを否定した」とは考えられないので誤文と判断する。

問3 念仏をキーワードとして日本仏教をとらえる問い。高校生は仏教の土着化とともに念仏思想を捉え、法然は、専修念仏の立場を掲げて比叡山を下り、阿弥陀仏の慈悲にすがれば誰でも救われると説いたと理解され、一遍は、時宗の開祖、南無阿弥陀仏と書いた念仏札を配りながら遊行、信心の有無にかかわらず念仏を唱えれば誰でも救われると説き、空也起源の踊念仏により成仏すると考えたと理解される。したがって④が選ばれる。

問4 伊藤仁斎の思想について基礎的基本的な知識を問う。高校生の知識では、伊藤仁斎は朱子学から始まり、古義学を提唱し、儒学の根本を「仁」に求め、「仁」とは愛に満ちた人間関係を築くことが儒学の理想とし、「誠」の徳すなわち「真実無偽」を説き、「忠信」と「忠恕」の実践を説いた、と理解されており、②が選ばれる。

問5 吉田松陰についての基礎的基本的な知識と資料の読解力を問う。③a「士道」から山鹿素行、④a 武士道とは「死ぬことと見つけたり」から山本常朝と分かり、①か②に絞られる。資料読解から①が正答とわかる。

問6 明六社にゆかりの思想家についての基礎的基本的な知識を問う。アから男女同権の一夫一婦制を主張した森有礼、イから儒学に根ざした国民道徳論が『日本道徳論』を著わした西村茂樹とわかり、正答②が得られる。

問7 西田幾多郎の哲学について基礎的基本的な知識を問う。「絶対無の場所」と「絶対矛盾的自己同一」について問われた。

問8 資料として示された三木清の文章と高校生と先生との対話、高校生の日記の読解力に基づき思考力・判断力を問う。「問い」をキーワードとして考える平易ながら良問。

第3問 「自由」を主題に西洋思想を概観する。

問1 ルネサンス期の人物についての基礎的基本的な知識を確認する。意外と手間取ったか。アでマキャヴェリは「あらゆる手段を使って」統治すると考えたと言い切れるか迷う。確かに宗教的・道徳的な制約を脱し目的のためなら手段は選ばない政治を説いたのは事実だが、「あらゆる手段を使って」と言い切れるか。イでダヴィデ像はミケランジェロ作だから誤文は明確。ウで『デカメロン』はボッカチオ作だから誤文は明確。

問2 アダム・スミスの思想について基礎的基本的な知識を問う。

問3 規範や法を考察した思想家として、モンテスキュー、ロック、トマス・アクィナス、グロティウス、ルソー、ベンサムについて基礎的基本的な知識を問う。高校生の知識では、アは「快樂」、 「制裁」からベンサムと分かり、イは「立法権や執行権を信託」、「抵抗権」、「革命権」からロックとわかり、ウは「神の法」と「人間の理性」の「法」の「調和」からトマス・アクィナスとわかる。

問4 カントの思想を高校生の読書ノートに基づいて確認する基礎的基本的な知識の問い。  
a 良心に従い義務を果たすことを自由という点が分かればよく、 b は手段でなく目的として扱うことがわかれば正答③が得られる。

問5 「自由」についてプレゼンしディスカッションした設定での会話文を読み、パスカルの思想について基礎的基本的な知識を確認するとともに『パンセ』の読解力を問う。

問6 レヴィナスの思想について基礎的基本的な知識を問う。他者論では他者の基本的な性格は他性にあり、他者の眼差し「顔」にあらわれるところから③が選べる。

問7 会話文と資料読解からシェリングの思想に迫る。シェリングを知識で解くとなると厄介だが、ここでは資料読解力が問われているので正答①は容易に得られる。「倫理」学習の実際に即した出題と言える。

問8 まとめとしての文章を完成させることを通して思考力判断力を問う。

第4問 高校生の会話文から、「運」、「格差」、「社会」を手掛かりに平易な問いを通して思索を深める。

問1 現代の家族について多様性や環境の快適さについて基礎的基本的な用語を選ぶ。

問2 心理学者の論を確認する。シュブランガー、サリヴァン、ホリングワース及びミードについて問う。

問3 マッシュマロ実験の資料を読み趣旨に合致する文を選ぶ思考力の問い。

問4 センの思想とモノカルチャーについての基礎的基本的な知識を問う。

問5 文化と宗教についての説明の正誤を判断する。アは人間性の特質を信仰に求める話として正文。イは文化の優劣と相対主義や共生は相容れないことから誤文。ウは文明の衝突であり誤文。

問6 ロールズ『正義論』を資料で示し、ロールズの基礎的基本的な知識と共に、読解力を問う。

問7 資料統計の読み取り。読解力を問う。

問8 現代思想について問う。マッキンタイア、ボードリヤール、デューイ及びソシュールについて基礎的基本的な知識を問う。

問9 会話文の文脈をたどる思考力判断力の問い。「倫理」学習に裏付けられた国語力が問われる。手間はかかるが平易である。